

○ オフィシャルの構成／必要人数（最低 8 名以上 10 名以下）

・ゴールジャッジ	2名
・ペナルティ・ベンチ・アテンダント	2名
・タイムキーパー	1名
・ペナルティ、得点操作盤	1名
・アナウンサー	1名
・スコアラ	1名
・シュートカウンター	1名
・統括	1名

○ 各担当の役割

1 ゴールジャッジ

- イ) ゴールジャッジは担当するゴールを試合中に交替してはならない。
ゴールジャッジはパックがゴールポストの間を通り完全にゴールラインを越えたかどうかをのみを判定するものとし、その判定を適切な合図（ゴールランプの点灯）で知らせるものとする。
レフェリーはゴールジャッジと相談することができるが、得点に関する論争の最終決定はレフェリーが下すものとする。
セーフコール、選手からの質問に対する返答は一切行ってはならない。
- ロ) 試合開始前にゴールランプが点灯するかを必ず試合前に確認すること。
- ハ) 試合開始後は、他の人との会話、飲食、携帯電話の使用等ゲームに対する集中力を欠く行為は一切行ってはならない。
- 二) 試合開始前にレフェリーとの打合せをすること。（レフェリー控室にて）

2 ペナルティ・ベンチ・アテンダント

- イ) 各チームのペナルティベンチに1人ずつ配置し、次の責任を有する
- ・ 要求に応じて、ペナルティを課せられたプレイヤーに、ペナルティの正確な残り時間を知らせる。
 - ・ ペナルティ終了後の適切な時間に、ペナルティを課せられたプレイヤーを氷上に戻す。
- ロ) 通常ペナルティを課せられたプレイヤーを氷上に戻す場合、電光掲示板のタイム表示の 0 でドアを開け適切に閉める。
- ハ) ペナルティを課せられたプレイヤーの背番号をスコアラに知らせる。
(操作盤担当)
- 二) ペナルティを課せられたプレイヤーが、ボックス内で騒いだり、ボックスを出たりしないよう監視する。
- ホ) ストップウォッチを用意し試合進行と同じに時間の計測を行う。
- ヘ) ペナルティ終了前にプレイヤーがペナルティ・ボックスを出た場合、オフィシャルスコアラにその旨を通知する。
ゲーム停止時にレフェリーに報告する。

ホ) ランニングタイム中のペナルティが試合中断時に終了した場合、試合再開後、選手を出場させる。

3 タイムキーパー

- イ) ゲームタイムに関する事項すべてにおいての責任を有する。
次の項目を確認（記録）し、各担当責任者へ通達する。
- ・ 試合開始前のウォームアップの開始と終了。
 - ・ 試合の開始時刻及び試合終了時刻
 - ・ 各ピリオド間のインターバルの終了
 - ・ 試合中のプレイングタイムのすべて（得点時、ペナルティ時等）
 - ・ すべてのペナルティの開始時間及び終了時間
- ロ) 自動のブザーまたはサイレンが備えられていない場合は、各ピリオドの終了を、ブザー、サイレン又はホイッスルで合図する。
- ハ) タイムキーパーは、第2、第3ピリオド開始 1 分前（大会により異なる場合有り）に、オフィシャル及び両チームに予備通告を与える。
- 二) 時間に関する論争が起きた場合、レフェリーの判断を最終とする。
- ホ) 試合中得点差が10点以上で試合の残り時間はロス込み（ランニングタイム）となる。
ただし、点差が1点になった場合、試合の残り時間が1分となった場合には、ランニングタイムを終了する。
ペナルティ発生時には、時計ととめて、ペナルティの表示を行う。その後はランニングタイムとするが、試合中断時にペナルティの残り時間が0となった場合には、試合再開後、選手を出場させる。

4 ペナルティ、得点操作盤

- ・ 得点、得点者及びアシスト、ペナルティ等の表示する事柄がある場合、速やかに表示すること。（レフェリーの報告後すぐに）
- ・ ペナルティが発生した場合は、ペナルティタイムから入力すること。

5 アナウンサー

- イ) アナウンサーは、場内放送を通じて次の事項をアナウンスする。
- ・ 得点及びアシスト
 - ・ ペナルティ
 - ・ ペナルティの終了
 - ・ 第1、第2ピリオド終了1分前
 - ・ 第3ピリオド終了（試合終了）2分前
 - ・ マニュアルに基づいての事項
- ロ) アナウンスマニュアルはオフィシャルバックに準備している。
- ハ) アナウンサーは聞き取りやすいはっきりとした声でアナウンスする。
- 二) アナウンスの時期を外さないよう気をつける。
- ホ) アナウンスが作成したメモは捨てずに、オフィシャル・ゲームシート（原本）と一緒に保存用ファイルにファイリングする。

6 オフィシャルスコアラー

イ) 試合前の任務

- 両チームのマネージャー又はコーチから様式に添ったオールメンバー表の記入漏れのない物を練習開始前迄に2枚受取る。
- 当該試合用のオフィシャル・ゲームシートを開く。
(※他の試合のゲームシートに上書き保存しないよう気を付けてください。)
- 各選手の氏名を選択し、ポジション及び背番号。キャプテンには「C」を、アルティネートキャプテンには「A」の文字を、それぞれ入力する。
(※自動表示されない選手は試合に出ることができませんので、入力しないように気を付けてください。)
- 場所、日付、チームの名称、オフィシャルの氏名等、試合に関するすべてのデータを入力する。

ロ) 試合中の任務

オフィシャル・ゲームシートに次の項目を記入する。

- 得点
- 得点者及びアシストの番号、時間。
- ペナルティを課せられた選手の番号、反則の種類、反則が課せられた時間、ペナルティの長さ、ペナルティの開始及び終了時刻。
- ゴールキーパーの滞氷時間。

オフィシャルスコアラーは次の責任を有する。

- ペナルティ及び得点をスコアボードに正しく表示すること。
- ペナルティを課せられたプレイヤーが遂行したペナルティの時間が正しいことを確認すること。
- 時計装置の表示と公式タイムとの間に矛盾が生じた場合はレフェリーに知らせること。
- レフェリーに指示された調整を行うこと。
- 同一選手が一試合に2つ目のメジャー又はミスコンダクト・ペナルティを課せられた場合、レフェリーに通知すること。

ハ) 試合後の任務

- オフィシャル・ゲームシートを作成し、レフェリーの署名を受けて原紙を保存用ファイルにファイリングし、コピーを両チームへ渡す。
- オフィシャル・ゲームシートは上書き保存する。
- PC、プリンターは手順に従って電源をOFFにする。

7 シュートカウンター

- シュート本数を数え、ピリオド終了後アナウンサー、オフィシャルスコアラーに通知する。
- シュートの本質を理解し、正確にカウントする。
*シュート本数はゴールキーパーのセーブ率に関係します。
- ゴールキーパーが交代した場合には、交代前の被シュート本数をオフィシャルスコアラーに通知する。

8 統括（責任者）

オフィシャル全体を指示し、それぞれの任務が正しく遂行されているかを確認し、ゲームの流れを把握する。

○ オフィシャルの準備／片付け

1 準備

- 選手ベンチの準備（自販機・放送室前のカバーも含む）
- ペナルティベンチの準備
- スコアボードの準備

- オフィシャル席の準備
※機材の準備については、パピオの従業員の指示に従ってください
- 連盟のパソコン、プリンターの準備
- ゴールの準備、ゴールネットの確認

2 片付け

- 選手ベンチの片付け（自販機・放送室前のカバーも含む）
- ペナルティベンチの片付け
- スコアボードの片付け
- オフィシャル席の片付け
- 連盟のパソコン、プリンターの片付け
- パソコン、プリンターは、手順通りに電源を off にする（強制的に終了させない。）
- オフィシャル用バックから出したものは、オフィシャル用バックに収納する。
- パソコン、パソコンの電源コード、マウスは「PC用バッグ」に収納する。
- プリンター、プリンターの電源コード、プリンターとパソコンの接続コードは、「プリンター用バッグ」に収納する。
- ゴールの片付け、ゴールネットの片付け
- ゴールジャッジ、マイク、チーム名の板は事務所に返却する。
- ゴミが散らかっていないか確認する。

※ 対戦チームへの留意事項

- 『・メンバー表は、大会申し込み時のものを利用し、出場しない選手は見え消し線で必ず消す。
- 背番号、ポジションなどの必要事項を記入する。
 - 試合開始の15分前までにオフィシャルに2部提出する。』